

北海道社会学会ニュース

H.S.A.NEWSLETTER

発行：北海道社会学会事務局
〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目 クワガタビル
北海道NPOサポートセンター気付
FAX: 011-261-6524 E-mail: socio@npo-hokkaido.org 担当 畑
郵便振替口座 02760-3-3085 URL <http://www.soc.nii.ac.jp/hsa>

HOKKAIDO SOCIOLOGICAL ASSOCIATION

c/o Hokkaido NPO Support Center,
Kuwagata Bldg., Minami 2 Nishi 10, Chuo-ku, Sapporo, 060-0062 JAPAN
Newsletter Editor: TAKADA Hiroshi

編集責任者：高田洋（庶務理事） 札幌学院大学社会情報学部 htakada@sgu.ac.jp
〒069-8555 江別市文京台11丁目 TEL 011-386-8111（代表） FAX 011-386-8113（代表）

第58回北海道社会学会大会について

第58回北海道社会学会大会は、2010年6月19日（土）・20日（日）に、北海道教育大学函館校（函館市）で開催されます。今回は2日間にわたっての開催となります。なお大会プログラムはニュース次号（5月発行予定）に掲載します。

シンポジウムについて

テーマ：「地域メディアとコミュニティの関係性」

地域社会の疲弊が叫ばれる一方で、様々な地域再生への取り組みが各地で起こってきている。それらの取り組みでは、地域の実情に即し多様な「まちづくり」のためのツールが用いられている。それは、「温泉」であったり、「特産品」であったり、「ミュージカル」であったりと、実に多彩である。

そのなかで、今回の学会シンポジウムでは、地域メディアがもつ「まちづくり」のツールとしての可能性について考えてみたい。地域メディアがコミュニティとどう関わり、どう変えてきたのか、また今後どのように変えていく可能性をもっているのか。具体的な事例を通じて検討していく。

このテーマは、今回の学会が函館で開催されるという事情と密接に関連して採用された。なぜなら函館には、日本で初めて開局したコミュニティFM放送局「FM いるか」が存在するからである。そこで報告者のお一人に「FM いるか」のプロデューサーの宮脇寛生さんをお迎えした。もうお一人は、かつて「電脳村」と呼ばれた富山県山田村の調査研究を長くされている内田啓太郎会員にお引き受け頂いた。コメンテーターは、地域メディアに詳しい北郷裕美さんをお願いした。

函館の地で地域メディアの可能性について熱い議論が展開されることを期待しています。多くの方の御参加をお願い致します。

報告者：

「FM いるかの取り組みとコミュニティへの関わり」
宮脇寛生（FM いるかプロデューサー）

「＜コミュニティの二重性＞から＜コミュニティ意識の二重性＞へーCMC 研究の立場から地域コミュニティについて考えるー」

* CMC : Computer-Mediated Communication

内田啓太郎（北海道教育学 函館校）

コメンテーター：北郷裕美（札幌学院大学専門員）

司会： 小内純子（札幌学院大学）

（研究活動委員会委員長 原俊彦）

一般報告の申し込みと報告要旨の提出について

一般報告をご希望の方は、下記の要領に従って、(1) 報告の申し込みと (2) 報告要旨の提出をお願いいたします。またシンポジウムの報告者も、(2) 報告要旨の提出をお願いいたします。

(1) 一般報告の申し込み

- ①本学会ホームページより「報告申込書2010」（Word版）をダウンロードしてください。
- ②同用紙に必要事項を記入のうえ、事務局（担当：畑、e-mail: socio@npo-hokkaido.org）まで電子メールの添付書類でお送りください。ファイル名は「報告申込書2010○○○○.doc」（○○○○は報告代表者の氏名の漢字表記）としてください。
- ③申し込み期限は**4月16日（金）**（必着、期限厳守）とします。これまでに2009年度（09年5月請求）までの会費を完納してください。完納されていない場合は発表できません。
- ④事務局は申し込みのメールを受領後、その旨の返信メールをお送りします。数日たっても返信メールがない場合は事務局へご確認ください。

(2) 一般報告・シンポジウム報告要旨の提出

①以下の書式でWordによって報告要旨を作成し、大会校の藤井廣美（北海道教育大学函館校）会員（e-mail: fujii@hak.hokkyodai.ac.jp）まで添付書類でお送りください。ファイル名は「報告要旨〇〇〇〇.doc」（〇〇〇〇は報告代表者の氏名の漢字表記）としてください。なお、タイトルや報告者は、報告申し込み時と完全に一致させてください。この段階での変更は認められません。

【書式】A4版1頁40字×40行を2頁までとします。1枚目は上7行に、報告のタイトル<14ポイント>（必要に応じて副題<12ポイント>）、所属と氏名<12ポイント>を記入して下さい。本文は<10.5ポイント>でお願いします。文字フォントは、和文は明朝体、欧文はcenturyを使用し、ページ設定における余白は、上25ミリ、下25ミリ、左25ミリ、右25ミリにしてください。なお、要旨集のフォーマットは北海道社会学会のホームページよりダウンロードできます。

②さらに①による原稿を印刷し、折らずに下記まで郵送してください。原則として、郵送された原稿をそのまま印刷に用います。

送り先：〒040-8567 北海道函館市八幡町1番2号
北海道教育大学函館校 藤井廣美会員あて

③①添付書類および②打ち出し原稿の提出期限は、いずれも**5月14日（金）**（必着、期限厳守）とします。

2009年度第2回理事会報告

日時：2010年2月24日（水）18:00～

会場：札幌市立大学サテライトキャンパス中会議室

出席者：小内会長、櫻井副会長、原・杉岡・梶井・松岡・高田の各理事（欠席者：井上、笹谷の各理事）

報告及び議題

1.編集委員会報告（井上編集委員長の代理として松岡理事が報告）

『現代社会学研究』第23巻（2010年6月発行予定）は、投稿論文8本の査読済み、改稿中。書評は

4本であることが報告された。

2.研究活動委員会報告（原研究活動委員長）

6月19日～20日に北海道教育大学函館校において開催される第58回大会の準備状況ならびに一般報告の申し込み締切日等に関する委員会案が報告され、その通り了承された。

3.庶務

JSTにおける『現代社会学研究』21巻以降の論文等の公開について、JSTと協議することが確認された。

4.その他

4-1 社会学系コンソーシアムの評議員会およびシンポジウムに櫻井副会長が参加したこと、およびその内容について報告があった。今後も同コンソーシアムの活動に協力していくことが確認された。

4-2 次回理事会は2010年6月19日（大会当日）に開催することとなった。

会員異動（2009年12月～2010年3月）

（ホームページ公開版では省略）

会員情報の更新について

住所や所属が変更になったときは、遅滞なく郵便かメールで事務局（担当：畑 socio@npo-hokkaido.org）までお知らせください。その際、e-mailアドレスもお忘れなくご登録ください。

会費の納入について

2009年度会費または未納分会費について、同封の郵便振替用紙〔郵便振替口座 02760-3-3085〕にてすみやかに振り込み手続きをお願いします。年会費は一般会員6,000円、学生・院生会員4,000円です。2009年度会費を納入されていない方には、機関誌第22巻（本年6月発行）をお渡ししていません。5年間滞納されると、自然退会の扱いとさせていただきます。